

第1章 川越市の現状認識

●地域にはぐくまれた伝統文化の継承、市民文化の創造

本市は県内でも有数の伝統文化が息づくまちと言われ、多くの観光客が蔵造りの町並みを訪れています。これまで主に文化財の保存に重点を置いてきた施策を今後は更に広げ、町並みの保存や歴史的建造物の復元などに積極的に取り組んでいくことが必要です。歴史的な町並みについては、更に価値の検証に取り組み、今後伝統的建造物群保存地区の拡大や、周辺地域についての都市景観条例に基づく都市景観形成地域の指定などを合わせ、歴史的景観の更なる保全と、地区における取り組みを含む体制の強化を図る必要があります。以下略

●景観に配慮したまちづくり

基本方針：長い間に培われてきた歴史や文化を大切にしながらも、積極的に新しいものを取り入れ、創造し、認めていく市制が、次世代への都市景観をはぐくんできます。また、優れた景観の形成には、市民の理解と協力とともに、行政の先導的な役割が欠かせません。中略

更に、都市景観重要建築物等の指定により、歴史的な建造物等を生かしたまちづくりを地域住民の理解と協力を得て推進します。

●観光資源の活用と観光施設・サービス等の充実

基本方針：観光客が快適に市内の散策ができるよう休憩所、駐車場などの施設整備及び安全に配慮した道路等の環境整備を推進します。

史跡及び川越まつりなどを活用し、広域的な観光客誘致といわゆるリピーターの増加を図るため、新たな観光資源の発掘に努めるとともに、商業と観光とを相互に連携させ本市の産業の活性化の推進を図ります。

[写真－1] 蔵づくりの町並み



第1章 川越市の現状認識

◆川越市都市計画マスタープラン（平成12年3月 川越市）

- 都市づくりの理念：川越市の特長である緑と水の豊かな自然と歴史・文化・伝統を生かしたまちづくりを目指します。
- 土地利用の方針：歴史、景観資源の保全・活用と都市生活に対応した住宅地への改善
- 地域別構想（本庁地区：当該地区）：時代（とき）がささやき、風かおる出あいの街
- 景観まちづくりの方針：優れた歴史的資産の保全と活用による、川越らしさのある歴史・文化景観の形成。地域特性を生かし、ゆとりと調和のとれた町並み景観の形成

◆埼玉県新5か年計画 『環境優先 生活重視 埼玉の新しいくにづくり』

（平成10年2月 埼玉県）

●西部複合都市圏（圏域整備の方向）

歴史と文化を有する川越市、新しい商都として発展している所沢市を圏域の核として、首都圏中央連絡自動車道など東西方向の交通軸の強化によって、沿道に産業拠点の集積を図り、新しい文化と産業の発展する都市圏を形成します。

第2章 旧川越織物市場の歴史的価値と保存・再生に向けて

「旧川越織物市場」の産業遺産として、あるいは市場建築としての稀少価値について、市当局、県当局には、十分にご理解いただいているものと承知しております。それは市立博物館において「織物市場」の精工な20分の一模型（写真－2）が再現され、さらに丁寧なビデオによる説明展示が行われていることにより明らかです（参考文献1、コメントA）。また、いままでの保存・買い取りの経緯について、市の姿勢は保存に向けて誠意ある対応と認識しております。また、埼玉県近代化遺産調査報告書のなかでも、織物市場の価値と保存の必要性が1節を割いて強調されていることにより、県の保存に対する理解も承知しております（参考文献2、コメントB）。ただし、今回の解体・マンション建設の事態は、「織物市場」保存に与えられた最後のチャンスであり、もし、失敗したならば、その遺産は永久に失われます。私たち市民も、400万人を超える観光で訪れる方々に見ていただきたいものは、小江戸川越・文化都市川越であり、マンションを見ていただくものではないことは論を待ちません。住民として市を応援し、保存・再生していく決意しております。署名活動への大きな反響は、市民・観光客の皆様の総意です。

私たちは「織物市場」保存に尽力された先人に敬意を示すとともに、小江戸川越、文化都市川越の名と名誉に恥じないよう対応し、後世へと文化遺産を伝えていきます。この章では、もう一度、歴史的視点より「織物市場」の価値を確認し、保存・再生への決意を確かなものにします。

〔写真－2〕博物館の模型写真

